



～ 皆さまへ ～

涼しい秋の風を感じる季節となりましたが、お元気でお過ごしでしょうか。初当選からこれまで、初登庁、初議会、初一般質問、初委員会、初視察など、「初」ばかりで戸惑うことの多い毎日ですが、明るく元気に活動しております。今年度、委員会は、『生活福祉委員会』と『目黒総合戦略等調査特別委員会』の2つに所属となりました。

お預かりする議席の重みと、皆さまの代弁者としてお声を届ける責任の重さを決して忘れずに、これからも日々精進して活動して参ります。

さて、これまでの活動報告として、「かなこ元気NEWS」を発行致しました。今後とも、皆さまのご指導を賜りますよう、また区政に対するご意見・ご要望をお寄せ頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。

目黒区議会議員 小林 かなこ



本会議で初の一般質問！ (6月)

区民の安心・安全な生活環境の整備、無電柱化の取組み、子供たちの安全を守る教育のあり方、東京都ひとり親家庭子供サポートモデル事業を取り上げました！ 主な質疑応答をご紹介します！

安心・安全な生活環境の整備

- ①不燃化特区地域にて、今後防災機能がある広場や空間を作る計画があるか？
- ②不燃化特区地域の整備の進捗状況は？

- ①南部地区の公園整備は遅れているため、適地があれば整備を進めていきたい。
- ②不燃化特区制度の周知と建替え喚起等を図るため、老朽住宅等の所有者を戸別訪問したところである。(区長)

無電柱化の取組み

- ①国や民間でも無電柱化推進の動きがあり、区も都と連携して進めるべきであるが、今後の進め方は？
- ②区道と洗足地域の計画は？

- ①減災、景観、バリアフリー、情報通信の観点から、無電柱化を推進していく必要がある。今後も国の動向を注視しながら取り組んでいく。
- ②全ての区道で地中化は困難だが、洗足駅前には地中化整備の優先路線である。様々な課題があるが、歩道のバリアフリーにあわせて地中化を進めていく。(区長)

子供たちの安全を守る教育

- ①区立小中学校における避難訓練の取組みは？
- ②引き取り訓練など保護者や地域の連携が必須となる取組みについて現状と課題は？

- ①児童・生徒が様々な状況に対応し、自らの判断で行動できるよう、実践的な避難訓練を行っている。
- ②平成26年度は、引き取り訓練、総合防災訓練、夜間避難所訓練、避難所運営訓練等を行った。実践的な訓練内容とすること、保護者、地域住民等との連携の充実が課題である。(教育長)

荒川区の防災取組みをご紹介します！

「子供たちの安全を守る教育」に関する質問では、荒川区立中学校の防災部(仮称)の取組みが目黒区でも大変参考になると紹介しました。今後は、実際に学校を訪問した内容をお伝えします！

①すべての区立中学校に防災部(仮称)を設置！

→名称は各中学校で違い、メインの部活動との兼部が可能です。これは防災部の部員を確保する工夫だそうです。

→南千住第二中学校では、全校生徒 307 名中 199 名もの生徒がレスキュー部に入部しています！

②訓練の内容は？

→メインの部活動に支障がない範囲で、月に1～2回程度、災害時に後方支援ができるよう、D級ポンプの操作訓練や救命訓練等を実施する予定とのこと。

→地域の防災訓練にも参加し、町会や消防団との連携も深めるそうです。

気仙沼市・角田市を訪問 (7月)



安波山から



復旧整備事業



災害公営住宅



仮設住宅



角田市による説明

今回、目黒区の友好都市である気仙沼市・角田市を訪問する機会をいただきました。

特にその中で、訪問した大島中学校の教頭先生からうかがった「感謝力」のお話にとっても感銘を受けました。今は中学生の皆さんが、震災の時に助けてもらったことへの感謝の気持ちを忘れずに、島の整備活動やボランティア活動に自発的に参加し、なくてはならない島の戦力になっているとのことでした。

私は、6月の一般質問で、荒川区立中学校での防災への取組みが目黒区でも大変参考になると紹介しました。目黒区でも、地域防災計画において、地域避難所に指定されている都立高校等においても、総合防災教育を積極的に推進し、若い防災リーダーの育成に努め、中・高校生による共助体制を確立し、区と連携した訓練が行われるよう取り組みを進めるとされていますが、私は、もう一歩進めて、中・高校生の皆さん一人ひとりが、自分の判断でも防災・減災活動ができるような存在になってもらうことも大切だと考えています。

今後もそれを模索・提案していく活動をしていこう、そう決意を新たにした訪問となりました。

その他の活動！ (8月)



目黒総合戦略等調査特別委員会 視察



平成 27 年度目黒区総合防災訓練 参加



小林かなこ プロフィール

<所属>

- ・日本空手協会目黒支部指導員
- ・目黒消防団第8分団
- ・日本会議世田谷目黒支部役員
- ・目黒区倫理法人会 ほか

小林かなこ 公式HP

目黒区の元気

検索



- 昭和 52 年 4 月 12 日生まれ。山形県出身。
- 筑波大学卒業。米国の教育団体に 11 年間勤務後、国会議員秘書となる。
- TOKYO 自民党政経塾第 9 期生。平成 27 年目黒区議会議員初当選。
- 7 歳から始めた空手は三段・現役選手。目黒区内で現在も指導に携わり、教え子は 2014 年度世界大会チャンピオンに！